

議員全員協議会会議録

(新ましこ未来計画検証)

平成 29 年 5 月 8 日

益子町議会全員協議会室

出席議員	議長 廣 田 茂十郎	副議長 高 野 美 晴	
	直 井 睦	高 橋 家 光	磯 部 浩
	小 島 久 之	高 橋 美 江	日 渡 守
	岩 崎 秀 樹	河 原 誠	星 野 壽 男
	加 藤 芳 男	長 岡 景 介	黒 子 秀 夫
	高 橋 正 則	小 島 富 子	

議 長 早速新ましこ未来計画の協議に入ります。協議は着座にてお願いします。

基本目標の政策ごとに意見を纏めたいと思います。基本的には初めての試みなので皆さん戸惑いあると思いますが、新ましこ未来計画について皆さんから自由なご意見、この間の検証含めた自由なご意見をいただきまして、その議事録をもって執行部に提出する運びとなりますのでよろしくお願いします。

初めに幸せを感じる暮らしをつくる、政策 1 「住みたい・住み続けたい環境の充実」で意見はありませんか。前回の全協の資料、検証の資料があったと思うのですが。議員のみですのでどういう意見でも結構ですし、新未来計画は最上位計画ですので、ここに載っていない問題でも結構ですので、こういう問題も当然力を入れていかないとそういうこともありかと思しますので。

磯部議員 最初のこの子育て応援手当、ここに報告にあるように支給された方と対象者に対しての差、引き算やると 189 人。こういう方は申請しないということなんですかね。貰う資格があるのに貰いに来ないことになる。

高橋(正)議員 極少数ですけど知らなかったって人がいるみたいです。たまたまうちへ運動着を買いに来たお客さんで、子育て応援手当もらったのと聞いたら、そんなのあるのと言ったお客さんがいたので、早く行って貰ったほうがいいよと、まだ 3 月中だったので言ってあげたんですけど、そういう人もいたみたいです。

小島(久)議員 私が実際に会った人は子ども 2 人居て若い母親なのですが、3 月 1 日の段階で知らない。役場にいるからと呼んで、この人貰ったかどうか調べてと言ったら、まだ

貰っていませんねという。磯部さんは人数言いましたけど5.2%の人が貰っていないんです。宣伝が悪いのか、知らないというのはちょっと異常かなという気はします。

小島(富)議員 防災無線とかでも毎日のように流していたし、100%周知するというのは難しいことかも知れません。

磯部議員 実際に自治会長もやっているので広報もまわしているんですよね。毎月数を150位。ところが理解しているつもりでいて、新たに見直して見ると結構情報は詰まっていると思いました。

特に議会で副町長が海外派遣の報告が2ページにわたって広報に出ていると回答されたので、検証するのに見たら2月の広報に出ていました。それも2ページにわたってではなくてではなく、3ページの中の下半分にただ報告やりましたというだけの報告で内容なんかほとんど何も書いていない。毎月配布されているのに皆さん見ない人が多いのかな。結構分けている側としては毎月なんでこんなにあるのかと分けていますけど、まわしても実際見ない人が多いというのはかなりあるような気がしました。そこをどう町民に関心を持たせるか、自分の関心のある事に対しての意見を吸い上げるかということがかなり大切なのかなと私は思っている。

星野議員 次年度の方針で、子育て支援拠点施設を整備し子育て世代の移住定住を促進するとありますが、子育て支援拠点施設を整備するのもいいことだと思うのですが、昨年度から県では第3子に18歳未満の第3子を無料化になったと思うんですよね。益子町ではその第3子にかかわらず、3人子どもができれば2番目だろうが3番目だろうが無料化にするというようなことをしては如何か、1番その辺が手っ取り早い気がするんです。

小島(富)議員 星野議員が只今発言なされましたけれども、そういうことを町のほうで前向きに考えていただければ、減少傾向にある出生率も少しは上がってくる。イコールではありませんが、経済的にも還元、緩和されますので、これも1つの人口増に繋がる方法かと思います。

直井議員 子育て支援について話が出てますので2点ほど。最初に昨年度実施された事業として子育てガイドブックの作成があったと思います。配布もされ、私自身いただいて感じたことが、企業の広告が入り、製作費の協力金をいただき費用の抑制効果がみられたが、内容的にそのガイドブックの中で新しいような支援策というのが少なかったような気がします。それを担当の課でどのように検証しているのか。配布率や、いただいて実際に子育てをしている保護者の方からの意見等があったのか。1年経過して、まだ見えていない部分を検証していただきたい。

あともう1点が子育て応援手当について、最初に出たと思うのですが、実際私の世帯でもいただいています、対象世帯全員に文書で通知していただいていると思います。児童手当と同様に、必ず対象となる人には通知はされていると思う。その登録している住所が果たしてそこに住んでいるかどうか検証もあると思うんですけど、必ず100%配布を目指していただきたいとは思いますが。1人1万円分相当を年間いただいて、手当に対しての効果というのも一緒に検証していただきたいと思います。どの様なものに使って、どの様な地域経済の効果、波及効果があるのか調査をし、5年間続けて実施するわけですから、単にばらまきの手当になってしまう可能性があるんで検証していただけたらと考えています。

磯部議員 子育て拠点施設。5千万使ってやるんだけど、教育厚生委員会で認定こども園まわったんだけど。つくってもそれだけ利用する人があるのかな。どこでも益子はいれないといのはないようなんですよね。日曜と土曜やらないから施設に来るのかどうかちゃんとした考えをもって拠点づくりにあたらないと。つくった方がいいけどあんまり利用者がいないみたいなことにならないようにしなくてはならない。益子はゼロということになっている訳で、つくってそれだけの効果が直井議員が言ったように、しっかりと見守らないと我々も意見を出していかななくてはならないと思っている。そういう点を我々も確認して行かなければならない。

岩崎議員 PDCAサイクルの回し方がきちんとされていないのかなど。これやっていくとPDCAのダブルループというのと5つのMが出てくるんですけど、ダブルループのPはプログラム・ファインディング、いろんな皆さんが言っているようなこと見つけたら可視化して、それをみんなで解消して確認しあう。そのサイクルを職員さんはまずやられていないのではないかな。この報告書だけを見るとそういう所のプロセスが全然出ていないものですから、推測でお話するようになってしまう。もう1つは5つのMはミッションとマシーンとマネージメントとメディアとマン。先ほど出たと思うんですけど伝え方がメディアになるし、伝える人のやり方が上手いのかどうかは人の技量になりますし、マネージメントは管理する人になりますし、あとマシーンとかミッションとか機械の問題とかやる人の意欲とかいろいろ問題が出てくると思うんですけども。やはりそこまで職員の皆さんに書いてもらったものを出していただいてそれから検証しないと、こちらで推測のお話みたいな感じになっちゃうんじゃないのかなと思います。課長さんにも言ったんですが、本当にPDACサイクルお分かりですかという質問した時にあんまり分かっていないみたいで、ここに書いてありますけれども実際のPDACサイクルの運用がきちんとされている

かどうか分からないので、これだけでいろいろというのはきつかなという感じがいたします。

議長 確かにこの検証のシートだけでというのは非常に検証しづらいのも確かですが、とりあえず材料がこれだけしかないので、今のところ。ただ、そういう形のもっと詳しい資料を出して欲しいということは提言しておきます。

ないようでしたら2に行きます。政策2「住み良い持続可能なましの創生」で意見はありませんか。

高野議員 各自治会に担当職員がいますよね。担当職員の方は班長会議や、役員会議に呼ばれると思うんですけども。その時に新しい事業とかいろいろ理解されていないような事業ですか。そういうものを班長さんにちょっと時間もらって説明して、各班に持ち帰って連絡してもらうような方向でやったのが担当職員の役割というか、それも地域の人と繋がるのかなと感じる。

小島(富)議員 里山整備について、平成29年以降も森づくり県民税が継続できる予定ですので、まだまだ里山整備や通学路の整備とかもできると思います。これは予算がないとかではなくて自分たちが森づくり県民税を納めているわけですので、これからは是非ともどんどん活用して環境整備に繋げて行ったらいいのではないかと思います。益子町では随分きれいになってきているかと思いますが、まだまだ猪獣害対策に関係する場所も整備するところが多いと思われますので、尚一層力を注いでいくべきではと考えます。

日渡議員 ごみの件に関して、ごみの分別リサイクルです。かつて数年前は大分町民の気運が盛り上がって分別等きちんとしていた気がします。ここに来て何か分別等の意識がちょっと少なくなったような気がするのですが、他の地区等は詳しくは分かりませんが少し周知徹底とか、資源物の定期回収等についても、もう少し周知徹底を図ったほうが良いと思います。

直井議員 ごみの関係で資源物の回収があると思います。各自治会で月1回業者に依頼して回収していると思います。奨励金制度の達成率について、自治会の会員数自体が少ない七井地区が進んでいない。ごみを減らすという部分からも周知徹底して、まだ奨励金制度を設置していない自治会の推進というのを環境課のほうで推進していただければ、町内全域にわたってごみの減量化が図れると思いますので推進していただきたいと思ってます。

磯部議員 今、直井君が言ったように関連することで、実際私も目の前が集荷所になっているのでやっているんですけど、生ごみはここにも書いてあるように確かに前よりは週

に2回だけど、いつもいっぱいに入りきらなかったのが最近なんだか余裕があるんです。前の人がやめたということでないとは思いますが。

それといつも思うのは、要するに毎年毎年分別方法を配ってもいてもなかなか徹底されていないです。私も自治会長会議の時に聞くと例えばカゴへ名前をちゃんと書くように、渡すときは指導しているという回答なんだけど、徹底しないと。大体分別をやっていないのは名前がないんですよ、そういうカゴに限って。そしていつまでもそこへ置いてあるという状態。

資源物が相変わらず通常の時に外出している所がある。そこでは育成会と自治会の話し合いが上手くいっていないんだなと私は見ているんですけど。そういうのも自治会を通して徹底させるということが必要なんじゃないかと。もっと紙資源のリサイクルに繋がるなと私は思っているんです。

高橋(家)議員　ごみを排出する場合に生ごみなんですけど。指定袋10枚で100円という形で購入して1枚当たり10円になります。他市町村のところでは最終的には処分場でもって行く場所は同じなんですけど、普通のレジ袋とかでも搬出可能であるというお話を聞いております。今レジ袋も有料になったので、そんなにはないとは思いますが、その辺のところをどちらでも使えるような形にもっていければいいと考えております。

高橋(正)議員　自然エネルギーの件なんですけど、執行部の総括では補助制度の周知不足ということで、木質バイオマスの補助金が2件でありということなんですけど、木質バイオマスの利用促進、それに関しての周知不足は私も感じて、益子まつりの時には業者の人が一生懸命働きかけはしているのですが。実際に木質バイオマス化をなぜやったほうがいいのか、町として推奨するのかとか、そのためにこういう補助金があるという部分について、やはりもっともっと所管課なりが有効なPRが足りないかなと思ったので、是非この辺のところはご自分達も周知不足と言っているんで、今後検討していつてもらいたいと思っております。

それと、この間新聞に出ていたんですけども、東北電力管内では太陽光で作った電気が余裕電力の範囲がいっぱいになっちゃったので電気の買い取り拒否みたいなのがいっぱい出てきちゃっているというのが、この間新聞を騒がせたんです。益子は東京電力管内なので、その辺のところどうなっているのか。これから太陽光の利用促進、進めるうえでもその辺の情報も併せて収集して東京電力管内はまだまだ買取の問題はないのかどうか、その辺のところも情報収集して取り組んでももらえればと思います。

高橋(家)議員 バイオマス設置の補助のほうが1割、上限が5万円。設置に20万円以上要した場合、又燃料に木質ペレット薪等を使用のこと。住宅用太陽熱利用システム設置の補助が1割で、ただ上限のほうが10万円の補助。設置に10万円以上要したものが対象。

高橋(家)議員 やっぱ1割だね、少し魅力には欠けるなど。やっぱり1ではなく3ぐらいになればいいなという気はする。

小島(富)議員 執行部で良いこともありますので、お話をさせていただきます。ごみの減量化をやっているわけなのですけれど、小型家電の資源物回収。これは役場のところとあぐり館と改善センターとで回収していただいていると思いますが、それについては便利な部分ができている、これはいいことですので周知して行って、特に金がいっぱい入っている携帯とかを集めて東京都みたいに金メダルを作れるような方向へもって行ければ町としてもいいのかなと考えます。

高橋(正)議員 良いほうでやっぱり1つお褒めしたいのが、町では食用油の回収やっけていまして、うちのほうでもやっているのですが、最初の頃は中々集まらなかったのですが、結構最近は預っているカゴに7つ8つ入るようになりまして、環境を汚す使ったあとの食用油を回収することによってリサイクルになると思うので、この件も是非周知徹底してもらって、油回収する場所もふやしてもらえるとより効果が上がるのかなと思いました。

議 長 その他政策についてありますか。ないようですので政策3「健康・長寿まちづくりの推進」で意見はありますか。

加藤議員 地域密着型施設老人ホームということで、去年駄目で一昨年が駄目で28年度も駄目。やっぱり業者に話をすると土地が見つからないという話なんです。町では一切協力してくれないということなのです。やはりある程度高い金額も出せないということなので、町の土地あれば無料で貸してほしいという話もあったんです。その辺、無料まではいかないですけど、益子の里できたあともう1箇所作る予定でいたんだけどそれができないということは町の協力というのは不可欠だなと思うので、その辺は要請してできるように結構高齢化社会になってくるので、要請した方がいいなとは思っています。

磯部議員 健康ポイントこれをもっと、何処へ行ったらもらえるのかなと思って。もう少し具体的な、どういうことをやったら付くのかというのを、もっとお知らせする必要があります。

直井議員 健康に関する所で過去に一般質問でも執行部に対して一応検討していただきたい

ということで言ったんですが、ロコモティブシンドロームに関して、現在町内では健康健診を含めてそういう指導というのを殆ど聞いたことがない。実際に具体的行動として、生活習慣病については理解されている部分があると思いますが、筋肉関節関係のロコモティブシンドロームに関してはご年配の高齢者、または我々世代に関しても認識度が低いと思うので、早い段階で計画を立てて講演会なり指導方針なりを示していただきたい。1年間経過してまだ全然方策が示されていないので、健康面に関しての具体的行動は同時進行で、5年間を目途に実施していくものだと思いますので、全く手を付けずに2年目3年目へと先送りではなくて健康に関しては総体的に同時進行で行ってもらいたいというのが希望であり検討してもらいたいことだと思っています。

高橋(家)議員 道の駅からのサイクリングロードに関して、昨年舗装されて運用できるようになりました。少しずつではありますが利用している方が増えてきているように感じます。お母さんとお子さん連れで楽しんでいる風景も見られます。今の季節は川面が良く見え快適なサイクルが楽しめます。しかし、これから夏場になると堤防側面に葎が生い茂りせっかくの風景が楽しめません。草を刈るにも、下館管理事務所のお伺いを立てる必要があり手が出せない状態です。町として許可（お墨付き）をとって頂ければ、環境保全会の事業の一環として取り組みたいと考えますので、管理事務所のフォローをお願いします。現行実施中の花のまちづくり運動の一環として植花事業を展開してはと思います。

議長 他にありますか。なければ政策4「誰もがいきいきと生活できる環境の充実」でご意見はありますか。

岩崎議員 デマンドタクシー利便性を向上というのはすごくいいことだと思いますが、高齢者の方の事故が増えているということで、免許の返納と免許返納した方へのフォローをどうするのかというのをこれと一緒にくっつけていいのか悪いのか分かりませんが、免許返納された方のインセンティブをもう少し明確にしてあげれば、今度次の5の交通事故というほうにも反映してくると思いますので、生活できないから無理して運転している方も結構いらっしゃるみたいですので、そこら辺のケアとフォローも入れていただけるといいかなと思います。

小島(富)議員 障害者施設が道の駅で商品の販売をしておりますが大変好評です。まだまだ障害者施設は町内にあると思うので、そういう所へどんどん声をかけてもっともっと周知を図っていくべきだと思います。障害者の作られた品物は結構みんな販売されているのではないかなと感じております。せっかく道の駅があるのですから、これから

も活用していくべきではないかと思います。

直井議員 小島議員から障害者施設の商品ということで、3月の定例会でも少し執行部に対してお聞きしたのですが、益子町における障害者施設の優先調達率というのが益子町は5%で、ほかの県内の自治体と比べてもかなり低いです。未来計画の中で施設の商品を展示販売することで生きがいつくりや継続的な施設運営を支援しますと具体的行動でありますので、そこは庁舎内で調達率を上げていただく努力というのが必要なかなと思っております。

あと1点が介護予防サロンです。新しく3箇所で今年度開設ということで、各自治会に公民館があると思います。常時使用されている公民館は少ないと思うので是非開放していただいて、高齢者だけでなく子育て支援に関しても、各自治会の公民館の有効利用というものを行政側から推進していただければと考えております。

議長 他にありますか。それでは政策5「地域の安全・安心体制の強化」でご意見はありますか。

高橋(正)議員 1点は自主防災組織についてです。何回も一般質問もしておるんですが、全部で51自治会で組織されたところまで伸びているのですが、先ほどのごみの減量化と相まって、やはり七井地区の自治会が小さすぎで中々自主防災組織作れるところに行っていないのが実情で、自治会長を通じて組織化を促すというのもそろそろ限界ではないかと思うんです。ですからこの一言で終わさないで、ではどうするんだというところを、やはり組織化の問題に関しては例えば小さい自治会であればいくつか合同で自主防災組織を作らせるとか。例えば船橋とか大平とか、自治会の絶対数が14戸しかないとかそういう所で自主防災組織を組織しろと言っても中々実際にやり手が居るのかと言うとないのが実状だと思うんです。実態に即した形で組織化を促すような案を作らないと、これ以上の組織化というのは中々進まないのではないかと考えております。

それと支援に関してですが、支援を行うと書いてありますが、私は支援に関して具体的に書くのであれば、作るのに古い自治会、設立が早い自治会では30年以上が経っている。ですので、作ってある自主防災組織がきちっといざ一朝有事の際に稼働するのかどうか点検が必要だと思う。その辺も組織化と合わせて少し細かな具体策を立てていただかないと。

ただ自治会長を通じてと言ってもその辺の現実問題として、自治会長は1年交代で代わるので御座なりのまま、1年喉元過ぎればまた次の人に行っちゃうから構わないという傾向も見られるのが多々あると思うので、この辺のところ一朝有事の際に

ちゃんと果たして自主防災組織が稼働するのどうかというのもやはり点検してもらえるといいのかなということで、その辺の充実をはかるべきと思います。

日渡議員 交通事故の件ですけども、会合に出ると益子町はここ数年間死者がゼロということで件数等も少ないと指摘もされていいんですが、ここへきて益子町内でも事故が多いし、益子の町民が他市町に行って事故を起こしたりとか目立つような気がするが、政策5のところに書いていないですよ。交通事故に対して今後どうするか、一筆入れて緩んだ気持ちを引き締めたほうがいいのかなと思って発言します。とにかく益子町及び町民に関して事故が増えていると思います。

高野議員 通学路の防犯灯なんですけど、家の多い場所とかは結構付いているんですが、田んぼの中の通学路は付ける場所も限られてくるとは思う。付けられる場所には学校のほうでもPTAと検証しながら防犯灯の設置を増やしてもらえればと思います。

岩崎議員 計画のほうには通学路の危険箇所を点検整備するというふうに載っているのですが、政策5のほうの今年と来年の目標には出ていないのですが、どうしても七井地区は自治会が小さいと言われるのですが、うちの自治会では1000何百メートルにわたって草刈りとかやるんですけども、やれないところは今の時期になりますと枝がものすごい道路にはびこってしまっていて子どもたちの通学路のところ、子どもが認識できなかったり、道路歩いていても飛び出してくるように見えたりするような危険な箇所が特に七井地区は多いものですから、あまり言うとう地主さんを攻撃するみたいな話になるので具体的な話もできないもので、やんわり上手くやりながら子どもたちの安全の確保と観光立町とやっていますから、よそから来た人から道がきれいになってますねと言われるような。上手く3つぐらい併せて町民の皆様にアピールするようなことをここにも謳ってもらえると。あとその地主さんも自分の山の木が倒れて車に当てたりして地主さんの責任になるというのもありますので、そういう所も周知していただけるようなことを載せていただけるといいかなと思います。

星野議員 スクールガードなんですけど、いつも人材確保するのに学校と自治会辺りが苦労している感じなんです。その辺も行政側から少し力を入れて協力体制をはかられたいと思います。

それと先ほど岩崎議員が言ったように私一般質問でもやりましたが免許返納者。やはりここに来ていろんな事故が起きてます。ですからこれ家族を通して話し合っ
て決めるは如何か、本人は免許無くなると不便になるから無理して乗りますよね。家族を通して理解を求めてもらうような体制づくりも必要だと思います。

議長 それでは幸せを感じる暮らしづくりについては以上で締めたいと思います。

続いて風土に根差した産業をつくるで、政策1「成長産業としての農業の確立」でご意見はありませんか。

加藤議員 去年道の駅もオープンし、年配者が野菜の生産とかいろいろ加工品の生産ということで頑張っているんですけど、若い後継者問題はこれからまた大事になって来ると思いますので、その辺就農奨励金という補助金出してますのでその辺もつと。あと農協等の連携も道の駅だけでは駄目なので、農協の指導員の養成とか必要になってくると思うので、その辺の絡みどういふふうになっているのかももっとしっかりした体制づくりが欲しいなと思います。

直井議員 未来計画の中に農地バンク制度の新たな創設があります。その中で耕作放棄地が徐々に増えつつあると思いますが、耕作しづらいような農地などをある程度集積して、私の個人的な理想ですけれども町民農園など一般的に興味のある方に貸出して農地を使用していただけるような方向性をもっていただければと思っています。

高橋(正)議員 ここにも書いてあるのですが、道の駅益子の顧客ニーズの把握とニーズに即した商品開発、安定した商品の確保というのを、是非今後進めて行ってもらいたいのと、埴のJAの直売所と道の駅の連携をとって、Win-Winの関係にもっていければいいのかなと思ってますので、その辺のところ今後も注意してやっていただければと思います。

議長 他にありますか。ないようですので、政策2の「スモールビジネス推進と起業支援による産業づくり」でご意見はありませんか。

高野議員 起業支援でアグリ益子かな、益子ではやっているの。障害者の人があそこで行くらか働いていると思うのですが、そういう産業をアグリ益子辺りと聞きながら、また増やして行ければと思います。

磯部議員 陶器市なんですけど、直井議員も売り切れたところが結構あるんだよと話があったんで、私も今年は初日からどういう所がどうなのか掴んでおく必要があるということで、陶器市をひと回り歩きました。改めていろんな店があるんですね。好きな人は益子にあればなぜ来るのか。やっぱり歩いて楽しいと思います。その中で2店程並んで順番を待っている、勘定に並んでいるその製品も見ましたが我々の昔の感覚からすると益子焼かなという感じがしたんだけど、それが世の中の流れで、行政側でも支援することもちろん必要なんだけど、やはりある程度売る側のほうも自分らで努力する必要があると思いました。それでお客さんは千差万別で売る方も千差万別でこれでいいのかなという感じはしました。賑わっていて。やはり売る側も自分達も努力は重ねていかないとせつかくの、高橋さんがよく言う

デスティネーションキャンペーンなんかも本当に動かなきゃならないのかなという気がしました。

高橋(家)議員 益子の工芸をいかしたリノベーションなんですけど起業支援補助金を利用して推進するということになっているんですけども、人の流れを作る観点からするとリノベーションする箇所がバラバラというよりは特区を設けて1箇所流れができるような地区を選定したらいいのかなと考えております。

直井議員 まず益子焼に関して、益子焼を使おう条例が先月の全員協議会の場合でも課題としてあがっていたと思います。その内容についてどのように検討されているのか全く見えてこない部分があります。ほかにも地域独特の条例として那須塩原市の牛乳で乾杯条例などがあり、具体的に町内の人に向けての条例だと思うのですが、そういうのを少し精査していただいて、条文ができて報告という形ではなく、進捗状況を議会のほうにも示していただければより内容が深まると思うのでお願いしたいところであります。

星野議員 今、直井議員の条例の件もありますけど、私も陶器市何回か見に行ったんですけど、人は来ているのですが焼物があまり売れていないように見えました。ですから販路拡大に向けたデザイン商品開発、この辺も力を入れないとやはり焼物、益子焼の条例を作るのも良いと思いますけど、こちらと同時に力を入れて行かないと売り上げが伸びずのにはどうかなというところがありますので、この辺を特に力を入れてもらいたいと思います。

高橋(美)議員 今の焼き物の話なんですけれども、私もお客様と接する機会があるものですからいろいろお話する中で、焼き物も少し変わってきていて女性目線のちょっと北欧チック的な焼き物などが割と注目を浴びているところもあるかと思います。日常使いで、持って帰ってまた、家庭に持ち帰って生活にまた潤いを与えるというか。そういうふうな喜びを感じながらお求めになる女性の方も結構いらっしゃると思います。まだまだ益子焼の販売は、私は可能性が大きいんじゃないかなと感じておりますので、そういった点ではたくさんものづくりをする人がいる益子町ということと、DCの県の5つの方針に益子はプラスものづくりを入れたかと思うのですが、そういったところをもう少し強化して、「かさましこ」でも女性目線のパンフレットとかも作ったんですけど。女性に愛されるような視点での益子焼の販路拡大というのも視野に入れいく必要もあるのかなと。もちろん高級品も必要ですし、高級な物からカジュアルな物まで幅広いということをもう少しくPRできれば販売に繋がるのではないかと感じております。

議長 他にありますか。なければ政策3「観光の基幹産業化」でご意見はありますか。

高橋(正)議員 観光の基幹産業化ということで、この間テレビを観ていたら2千を超える道の駅ができて、道の駅自体もいろいろな差別化の中で、丁度ロマンチック村の道の駅の事が取り上げられていて感心したのが、道の駅をベースにして、例えば大谷観音からぐるっと回ってくるツアーとかいろんなツアーを企画して、道の駅を起点にして道の駅へ戻ってきて、帰り道の駅でお土産買ってもらうというようなのが、何箇所かやっている中でロマンチック村も取り上げられていたのですが、やはり益子町としてもこの間私申し上げましたが、ベーハ小屋とかいろんな各地域に町の中に点在している観光資源というのをきちっと掘り出して、そういったツアー企画を道の駅を起点にした観光コース。そういうのを作って情報を発信していくと、来たお客様も自分の車が邪魔にならずに、尚かつ、いろんな面での益子焼の益子も見られる。歴史としても益子も見られる。この間アド街でも言っていたように、益子はいろんなものが贅沢にそろっている。ゴルフから歴女も満足できる体験ツアーもある。いろんな部分で利用価値がありますので基幹産業化ということであれば、道の駅を起点にしたツアーも今後企画していくとよろしいのかなと。

それと当然宿泊を上げていくというのは非常に大事なことで里山リゾートさんにも是非頑張ってもらって宿泊客の増加に繋げていただければ。泊まらないとできない何かプランというのをみんなで考えて作って行くのも大事なことでなと思っておりますので、執行部と手を携えて議会としても何らかの方法を考えて行ければいいなと思っております。

高橋(美)議員 観光戦力会議のほうもやることになっているのですが、今回予算が17万円ということで観光戦略プロジェクト事業ということになっているんですが、これも今DCも来年が本番DC、そのあとアフターDCということと、今回のアド街ックもそうですし、何かとメディアに取り上げる機会も、結構このところ出ているんです。海外に持っていった事業も注目されている。ガイアの夜明けなどのテレビでも注目度も高い今チャンスが到来している気もします。観光戦略会議を速やかにこれを設置して、できればDC実行委員会も町のほうで設立されましたので、そこには議長も入っていますし議会も絡んでいますので、そういったところを早めに活動もして、今後の益子の戦略会議をやっていく必要も早急にあるんじゃないかなと。チャンスを逃さないためにも早めにスタートしたほうがいいと感じております。その中においても100回陶器市も今年の秋ということで、準備も正直言いますとこの春の陶器市終わってはいよいよこれから関係者とやっていく中においては、ご予算もも

ちろん町からいただいているんですけども、どんなふうにするかというのはトップである町長を交えてやっていかないと間に合わないんじゃないかなと私自身は感じております。陶器市実行委員がもちろんやるものではあるのですが、町長、観光協会長、そこに陶器市実行委員会が絡んだ形でもう打合せをして行かないと進まないのかなと感じております。その中においてこの間ホリプロの井上咲楽さんがアド街ック天国で益子出身の現役高校生が出演してまして、テレビの中でも陶器市呼ばれるんじゃないの、100回はなんて言われていました。そういったことも含めて何かこうメディアに宣伝するいいチャンスなので、やっていただければいいのかなと感じております。

黒子議員 前に高橋さんに、前回これ見た時に外国人の宿泊のデーターの取り方とか執行部が居る時に聞いたんだけど、2020年には700人という目標を作って、既に目標クリアしているという部分が、逆に言えば目標は700人クリアしているのに来年になったら600人、300人にまた戻ったよと。これだけ722人、そういう現状これしっかりとそれ以上プラスアルファ、目標もうクリアはできているんだけど、オリンピックまでに700人という。このやつが甘かったのか、一過性のもので700人になったのか、そこら徹底的に力を入れてやらないと駄目かなという気がいたします。

高橋(美)議員 この数字が何を根拠にこの数字を出したのか分かりませんが、与えられた数字なので事業所としては数字は意識しながらやっている所でございます。ほかに宿泊施設10ぐらいうちを含めてありますので。

直井議員 先ほど高橋議員のほうから観光戦略会議の設置ということでお話がありましたけれども、具体的行動の中でDMOの設立を見据えてというのが冒頭に書いてありますが、これは見据えてではなくて、是非2020年に向けての観光立国を日本全体で目指すわけですから、特に益子町、町長を筆頭に観光の基幹産業化を目指すのであれば、今の旅行形態から変えて着地型の旅行商品を独自に益子で開発するのはとても大切なことだと思います。その中でDMOの設立は見据えてではなくて是非実行に移してもらいたい。

あともう1点土祭について、次回から今までの行政主導という形から民間主導の形に実行委員会体制も移行されると思います。執行部からの説明もありましたように、過去3回行政主導のもと行い、次回から民間の皆さんのマンパワーを借りて、来年度には本土祭がありますので是非広く意見を求めて、検討委員会全部で9回あるというお話だったので、町民全体の認識と意識をあげていただく努力も必要だと思います。

日渡議員 私だけの意識かもしれませんが益子大使とかありますよね、その決まったのを私はいつも新聞で知ります。その決まる途中において、例えば議長さんは議会を代表してそういう会議に出ているのか、決定するプロセスに私はいつも疑問を持っています。違和感を持っています。次に県のレベルでは県の議会の人がそういう大使が果たして機能しているのか等意見を言って、大分論議になったことがあります。個人のプライバシーもありますから一概にきびしくは言えませんが、ある程度は機能しているかどうか、検証して行ったほうがいいのかと思って発言しました。

議長 それでは「観光の基幹産業化」については以上にしたいと思います。次に社会に自立した人を育てる政策1中、施策1「勁い心を持つ人財の育成」でご意見はありませんか。

高野議員 最近小さい子どもさんなんですが、結構田んぼの中で仕事をしていても、連休中こんなにちはとか声を掛けてくれる。非常に嬉しいことだと思って、田んぼの中で仕事しながらしゃべっています。ケガしないように遊びなさいよというようなこと。

直井議員 高野議員からもありましたが、特に中学生と高校生は、大きくなるとなかなか挨拶してくれない、その理由の1つに挨拶しても大人が返してくれないというのが1番の理由で中々広がりをもたない。子どもたちだけではなくて社会教育という観点からも挨拶の多い町を目指し、今年度豊かな心育成の町宣言というのを生涯学習課で考えていらっしゃるようですから、子どもたちだけではなくて我々大人が子どもに対して示すのは大切なことです。これから学校教育で道徳が必修科目となり、点数化になるということで、先行き見えないところもありますが、そういう観点からも少し道徳に力を入れて、子どもたちだけではなく町全体として道徳心を養えるような施策を作っていただき推進していただければと思います。

高橋(正)議員 今年度予算を持ってまして、図書館司書の配置が行われる訳ですけど、とりあえず1名ということで学校図書館の活動の充実を図っていくわけですが、この学校司書の配置なんですが、図書館の位置付けというか図書室の位置付けというのをこの学校司書を通してちょっと重点的に考えて頂きたいなと思っているところがありますので、できれば芳賀町のように各学校に1人ずつ配置されるのが望ましいし、ただ単に学校司書というのは図書室の本の整理と分類をやるだけではなくて、よく教育長が言うような読書活動によって人材を育成するということにも大きくかかってきますので、学校司書の配置を有効にやっていただきたいと思います。

議長 他にありますか。なければ施策2「学びを通して社会に貢献できる人財の育成」でご意見はありませんか。

磯部議員 私は中学生の派遣事業について一言いいたいと思います。この申し込み方法、この前議会で質問した時に、まず申し込みをしてそして作文を書いてもらってそれを基にして面接をして選考しているということだった。その場合に経済的理由で行けないとかいう事例はありませんと聞いて言ってるんですけど、町民にいろいろ聞いてみたら、10万円負担してそのほかにも掛るわけだからそういう人は最初から申込みしないでしょうという話でした。だからそういうことも教育委員会で頭に入れて欲しいということと。それから説明会については一般の人に関係なく関係者だけでやっているという。これ非常に私おかしいと思う。副町長がちゃんとそれを報告している、広報に出していると。広報を見たら2月号の3ページの2分の1の下にあれだけ書いて。私からすればお茶を濁しているというような感じなんです。もうちょっとしっかりとした報告を町民にちゃんと負担に見合ったような報告をしてしっかり欲しい。

岩崎議員 ALTの活用事業ということであるんですけども、他所で聞きますとALTの方が地域のお祭りとかいろんなものに出て地域の方と交流しているというのがあって、益子は授業しかやらなくて、全然こういうの出てこないのですかと言われたことがありますので。せっかくの機会ですので、いろんな地域の催し物なんかにも積極的に関わっていただけるような形にもっていったほうが、皆さんと交流したほうが理解度も上がりますし、せっかくいろんな違った文化感というのをほかの方にも伝えていただけるような、そこまでやっていただけるとありがたいのかなと思いますので。その辺ご検討ければ幸いかなと思います。

議 長 他にございますか。なければ施策3「たくましく生きるための人財の育成」でご意見ありますか。

直井議員 この施策の中で1番上の指標のところに東京オリンピック出場選手数という具体的に2020年1人以上とあります。今現在トップアスリートによる各種目に対しての指導教室等行われています。2020年、考えればあと3年後ですので、今の段階からもう一段階繰り上げて支援を行い、基礎を作る教室とか指導者の育成教室の開催では絶対に個人任せになると思われますので、今現在トップアスリートとして可能性のある子どもたち、特に中学生、高校生ですでに県で活躍して全国大会に出場できるような子どもたちがいれば、そこの支援がとても大切になってくると思います。今中学校だと七井や益子で県のトップレベルの長距離ランナーがいます。そういう所に支援を厚くして、トップアスリートを町自体が作り上げていく事業もこれから必要になる。今の段階ではそのような支援体制が見えていませんので、着手してい

ただく必要性を感じています。

星野議員 この指標2、あと3。2が小学生のスポーツクラブ参加率62.9%とか、これは間違いないと思うんですけど、3のほうは間違いないと思うんですけど、この数字がどういう調査で出てきたか分からないんですけど、この数字にちょっと騙されるような感じなんですけど、まだまだ小学生のスポーツに対する参加率というかスポーツ離れ、この辺をもう少し一般質問で言ったように何かの形で行うようなに進めていただきたいと思います。朝マラソンをすとか、少し恒例になるような感じの指導の仕方を。ちょっとこの62.9%というのは、これは週1回でもやればその中に入るのだと思うんですけど、それでは体力づくりにはならないと思いますので、その辺を何らかの形で少しこまめにスポーツに参加するような、町として方針を決めてもらいたい。

議長 他にありますか。ないようですので次に施策4「人財が育つ環境づくり」でご意見はありますか。

岩崎議員 町民大学の開校というのあるんですけども、私も昔入ったところがあるんですけど、結局人数合わせで入ってくれみたいな、人が足りなくてしょうがないから、そういうのでしたらちょっと意味が違っちゃって、環境をつくるというそういう人材をつくるための町民大学ならいいんですけど、作ったけど回らないのでなんとか人数合わせしようというような形になってしまうと本末転倒になってしまうと思いますので、その辺はご留意いただけるようご配慮お願いします。

高橋(正)議員 只今の岩崎議員のご意見に、多分数合わせは自治会長さんの心得次第だと思います。結局、前回の町民大学の時に、私運営委員会やっていたもので一言申し上げておけば、各自治会からリーダーを育成するために推薦で出して下さいというのがあったんです。その枠で出てきた人が自治会長から頼まれると、今岩崎議員が言ったような何でもいから数合わせで行ってくれよというような頼み方をした人がいたのだと思います。一応基本的には志があり、尚かつ自治会の中で、今回もそうですが、自治会の中で今後自治会を背負ってくれるような有能な人材を、是非町民大学で学んでもらいたいというようなことで推薦して欲しいと自治会長のほうに出ていますので、一生懸命、今回も前回の反省を踏まえて町民大学開校に向けて準備しておりますので、その辺のところは一言申し伝えておきます。

直井議員 遊びの達人の登録者数というのが実際指標で出ています。今話題のプロ棋士の中学生は、おばあちゃんと一緒に将棋を始めたのがきっかけだそうです。今現在、町民会館を訪れますと将棋や碁を打っている方がたくさんいます。子どもたちがやりた

いことばかりではなくて、子どもたちに教えるような立場からそういうのも含んでいただけると遊びの達人というよりも、生涯の趣味に成り得るようなもの、交流しながら教えていただくという方法もあるのかなと思っていますので、是非そういうのも実施していただけたらと考えています。

議長 他にありますか。ないようですので次に地域資産を蓄積するで、政策1「歴史や文化財、風土の活用と継承」ではご意見はありますか。日本遺産についてはないですか。

高橋(正)議員 歴史文化基本構想が本当に非常にいい構想ができ上がりました。いろいろな文化財の活用を考えますと、案内看板等々修繕もしていかないと、せっかくの観光客に対するおもてなしの心が薄れる部分があるんじゃないかと。何箇所か私気がついたところでは小宅古墳群の案内看板とかそういったものの整備、それとこの間の陶器市の時にも感じたのですがやはり外国人の方、結構来ている。特にアジア系の人たちも結構お見えになっているんだと。ついつい日本語で話しかけたらチンプンカンプンの顔をしてたら中国の人だったんですけども。やはりそういった今後2020年に向けて案内看板にしても、少なくとも日本語・英語・アジアの中国語がいいのか韓国語がいいのかちょっと分からないのですが、そういった案内看板の充実も進めて行かないと、せっかくの来て下さる方に対するおもてなしが損なわれるのではないかと思いますので、その辺のところ執行部のほうで今後検討して取り組んでいていただきたいと思います。

高橋(美)議員 私も今の意見賛成なんです。陶芸メッセさんなんかにも行くと日本語の案内しかないで、せめて英語だけでもあれば、言葉が通じないのに見るものもないということと非常に辛いものがあるものですから、その辺は早急に進めて頂きたいと感じております。

直井議員 益子検定について、今年度は目標値の約半数、50人弱の受験者数ということで、広報ましこにも合格者の皆さんが顔写真入りで掲載されていらっしやいました。社会教育の観点から見て益子検定はあると思いますが、小学校教育で副読本が益子町独自で用意してますので、子どもたち向けの益子検定を検討されたい。こちらから学校に出向いたり、そういう活動も必要だと思います。子どもたちに益子に愛着を持っていただく、自分たちの郷土をよく知ってもらおうという観点からも子どもたち向けの検定とか教育というのも、益子にはボランティアコーディネーターであったり様々な優秀な人材がおりますのでそういう方をお願いして交流を図り、推進していただきたいと思いますと考えております。

議 長 ないようですので。次に政策2「次世代につなぐ基盤整備」でご意見はありませんか。

ないようですので次に政策3「魅力あるブランドイメージづくり」でご意見はありませんか。

長岡議員 益子ブランドという認定の事業は大分前からやっております、いくつか補助金を使って商品開発をしたりとかいうことも今までもやってるんですけど、結果、継続して残って販売ベースに乗っかっているものが、私の中ではちょっと中々見つけることが難しいものですから、その辺で事業はずっと継続しますので、より効果の出るような使い方、また育て方を促していただきたいという意見をつけていただければと思います。

直井議員 ブランディングに関して、その前に意見が出ませんでした、政策2のランドスケープデザインととても関わりがあると思う。まず益子町の都市計画、町のあり方とか公共施設のつくり方とか基礎となるまちの全体像となるランドスケープデザインがなければ、それに対して益子独自のブランディングやブランド力の強化策も見えてこないと思う。その中で役場周辺の都市計画を進める上でも、それに対しても町が早い時点でランドスケープデザインを組み立てていただいて、道の駅単体でもそうですがまちのコンセプトを明かにしていただいて、街並のあり方、益子の押し出すブランド力を出さなくてはならないと考えます。そういう点でもブランド戦略会議を設置する以前にその前の段階で益子のランドスケープデザインというのを実際に町としてどのように考えているのか、形あるものとして方向性を出していただきたいのが私の考えです。

議 長 次に健全な経営体を持続するで、政策1「安定した財政運営」でご意見はありませんか。

黒子議員 これも前回の説明の時にも話して気になっている部分で、次年度の方針の中で町税に関しては滞納者への督促を積極的に行いとか模範解答を書いているだけで、この実態だけだね。前にもちよつと言ったけども、その辺を何て言うんですか。ペナルティを課すわけじゃないんだけど、前年に比べたら全部滞納繰越し分についてはほとんど徴収が前年度よりも下回っている状況でありますから、この辺を本当に頑張りますという形の回答になってますけども、その辺を具体的な数字というのはなかなか難しいかもしれないけども、やはり注視して行きたいと思いますので、何か意見というか、議員の中での纏まった意見があれば出しておいたほうがいいんじゃないかなと思います。

星野議員 町税とはまた別なんですけど、この間の委員会で町営住宅の家賃が滞納になっているという問題がうちのほうの委員会で話題になったんですけど、これはやはり税とは違う滞納者という感じで、ここで扱っても良いのでしょうか。ちょっとその辺が我々議員も分からなかった部分なんです。新しい住宅そっちのほうも滞納になっているという。それがちょっと問題になったんですけど。その辺を少し強化してもらわないと。古い星の宮住宅のほうは空いているんですけど、新しいほうは順番待ちで待っている方もいるんですよ。ですから新しい住宅に入っていて滞納している、それが結構金額が多かった人もいるらしくて、その辺をちょっと強化してもらえればと。後で、今回はもう我々の委員会で審議している時間ないものですから、改選になった後にもう1度しっかりと委員会でやっていただきたいと思います。

黒子議員 今、参考までに前にも監査の時の報告はしてありますけども、100万円単位が2人かな。あとは80万か90万。50万以上が1人、いずれにしてもベスト3くらいまで。一番親分が出て行ったと。前に報告したと思うんだけど、100何万という奴が退去させた。約束して1万5千円ずつ毎月払いますよという誓約書を書かせて出て行っただけで、入る入らないはこれは中々ね。出て行ったのは事実であります。もう1人100万がいますから、その人に今集中的にアタックしているという報告がありました。その時にも話しましたが、今の係が私が以前いたときには1人もいなかったのに、なんで私が戻ってきたらこんなに滞納あるんでしょうねという。職員がびっくりするほど、その区間が何だったんだというような実態であります。

高野議員 町営住宅の件についてなんですが、東田井でも町営住宅もっているんで、それでその中の2棟なんですが、今はもう町でも1人も入れていないんですよ。それで町営住宅全然入れてない町営住宅が壊すことが年数経たないとできないという説明なんです。出来るだけいろいろ危険な場合もあるんで壊していただければと思うのですが。町のほうでもメンテナンスも大変だと思うので、昔の町営住宅なので便槽なんです。汲み取りの。便槽のふたがなかったり、そういうあれがあっているいろいろ担当の人には言って、いろいろ対策を講じてもらっているのですが、早くそういうものは破棄処分というか、壊してもらえればと思います。

黒子議員 町営住宅でもただ1棟だけは空かしておくと、いつでも住める状態にしておくという部屋があるそうです。要するに災害とか火災で出されちゃう人は行く所ないという時にはそこへ対応できるように、一部屋だけは住めるのだけど今空き家になっているという報告を聞いてますから。

直井議員 ふるさと納税額について、将来的には1億を目指すということで、この未来計画が

策定された時には平成館の話もなかったわけですが、その中で改修費用の半額を国からの補助でその残りの半額は企業版ふるさと納税の目的別で資金調達を目指すという執行部の説明がありましたが、その額はここには入っていないと思います。

1年経って昨年度の納税額が金額自体示されましたけど、新たに設定の仕直しというのもこれから必要になってくると思います。一般の個人から受けるふるさと納税額が1億円なのか、それとも企業版のふるさと納税額を含めた額が1億なのか、新たなKPIの指数として作らなくてはいけない部分なのかなと考えてますので、執行部としてどう考えているのかというのを示していただきたいと思っています。

高橋(美)議員 今のふるさと納税の件でなんですけども、私の知り合いの方が寄附をして下さる方がいらっしゃって現実的にこんなものが届いたよとラインとかで写真を送って下さいました。その時にちょっと残念だったのが、その方もおっしゃっていたのですがせっかく送ってきた時に、益子焼だったのですが、益子焼の説明だけで益子の町で作っている資料やパンフレットなんかもあると思うのですが、そういったものが何も入ってなかったということで。それは私も課長にはお話しておいたので多分改善されていると思うのですが、せっかく品物送る時に何かしら次に繋がるような温かみのあるそんな対応ができるとよりイメージもいいのかなと、もったいなくないのかなというふうに感じました。

磯部議員 ふるさと納税ですけど、いいことばかりじゃなくて7割ぐらいの自治体は好意的に見ているのですが、皆さんもご存知のように元の総務省の片山さん、こんな制度は早くやめろというようなこと言ってますよね。読んでみるとなるほどなというような所もあるんです。益子町は目標を5千万ということで、益子町はそういうことは無いと思うんですけど、結局出す人は要するに税金が自分の自治体では免除されるわけですよね。東京都のほうは問題になっている区もある。5千万を目標として掲げているなら、せめて住民税だか何か軽減されているのはどれくらいあるのかということまで出す必要があると思う。それくらいは行政としてやるべきだと私は思います。

議長 他にありませんか。次に移ります。政策2「効率的な行政経営」でご意見はありませんか。

高橋(正)議員 今年度職員の資質向上に向けてまちづくり学習会を3月までに10回開催し、延べ686人の職員が参加したということで、このまちづくり学習会についての意見なんですが、前にも一般質問が本会議場で意見申し上げたのですが、3の町民主体のまちづくりのほうとも関わりが出て来るのですが、協働でまちづくり進めて行く。ま

してや自治会主導で先ほど前の所で直井議員が言ったように、例えば土祭にしても何にしても民間主導でもっていくというような方向性がある訳ですので、是非このまちづくり学習会の成果というか中身というのを職員から、一部町の人たちも参加しているのは知っているのですが、やはりそういったまちづくり学習会をやった時の説明書というかレジメというか、これは是非欠席したというか参加しなかった町民の人たちにも参考になる資料を今後用意しておいて、町民の人たちにもまちづくりの勉強をしていただいて、3のほうとも関わってくるのですがやはり協働のまちづくりということで、職員の資質向上も、町民の資質向上にも資するようなまちづくり学習会がでたらと思います。

直井議員 事業評価についてですが、町で毎年事業評価を実施してホームページ上等に掲載されています。評価に対してある程度目標値に達しなかった事業が幾つか項目として見られるのですが、それに対してのフォローはどうなっているのかという疑問に感じているところです。その年度で達成していなかった事業を評価して、評価で終わっているのか。去年の悪い評価に対して改善できたのかという検証を公表されていない部分もあるので、そういう所も含めた事業評価をしていただきたいと思います。

加藤議員 陶芸メッセの美術館、陶器市の時あそこに行ってお茶を飲んで、あと娘夫婦が中に入ったのですが、そしたらがらがら誰も居なかったという。これだけ 41 万人の人が来て何故あそこに何人入ったのかなという。その辺のPRとか宣伝ももっとも必要かなと思うんです。益子に来て、先程意見ありまして益子焼が売れない話もありましたけれども、本来の益子焼の魅力というものを本当に伝えてもらうには美術館に入ってもらって観てもらおうというのが、親しんでもらうことなので。今回中に入ってお茶を飲んでいても入る人いなくてさびしい思いをしたのですが、その辺の宝の持ち腐れにならないように今後PRしていただきたいと思います。

岩崎議員 地方自治法が変わりまして連携協約というのが今度できたと思うんですけど、これまちづくり学習会に入るかどうか分かりませんが、将来見据えてそちらのほうの模索というか勉強会の中に入れていただいたほうがいいのかと思います。

議長 よろしいですか。次に政策3「町民主体のまちづくり」についてご意見はありますか。

ないようですので、最後に検証漏れや総括で何かありますか。

高野議員 最初の1番の施策5ですが、防犯カメラをつけ加えて防犯カメラの増設です。

高橋(正)議員 私も1のやつの政策4のところなんですけど、サロンとか予防教室のそういうことで

高齢者の体調崩さないように予防活動に努めて行くというのが重点的に出ておりますが、政策4の中でもう1つあるのが高齢者の生きがいくつという部分があると思うんです。高齢者にとって自分が社会のお役に立っている。例えば公民館でやっているいきいき講師をやるとか、高齢者の人たちの活躍の場づくり、そういうのを予防サロンとか教室ばかりではなく積極的に高齢者が活躍できる場を作っていく、そういった活動も必要なんじゃないかと思うんです。是非これは生涯学習課とか健康福祉課の連携になってくるかと思うのですが、そういった取り組みを今後やっていただければと思います。

それともう1点いいですか。1番今の最後の町民主体のまちづくりについての所で今年28年度の事なんです、地域創生活動コンテスト、このコンテストが実施要綱等内容がよくわからないので是非この辺のところ全協で説明してもらって、どういうふうに取り組んでいくのか。私たち議会としてもPRして行く必要性もあると思いますので、この辺は早めに議会のほうにお知らせいただければと思います。

岩崎議員 政策2のスモールビジネスの推進のところ、政策のところ、世界一の焼物の町づくりを目指すところなんです。この世界一というのは生産額が世界一なのか出荷量が世界一なのかいろいろあると思うんですけども。それが具体的に分からないと世界一と言っても実際なんなのか、どこを目指しているのか分からなくなってしまうので、これの世界一は何を目指すのかというところを具体的に書いて頂いたほうがいいのではないかなと。

それとあともう1個、安定した財政運営のところ、町債額は減っていますと言うんですけど、私、過去3年分の財務4表を見てみたら、確かに1人当たりの町債額は減っているんですけども、1人当たりの総資産額も減っているので、総資産売り売り減らしていたら意味がなくて、何か生産性が上がれば資産は増えて借金が減るはいいかもしれませんが。持っている物を売り売りとかじゃないんでしょうけど、どっかでやりながらやっているのでしょうか、やはり活性化するには借金は減って資産は増えるというのはいいことだと思いますけど、そこら辺のところを資産と負債のバランスで表現しないと、片方だけ言っているとなんか安心な感じがしますが、裏の部分もきちんとディスクローズするようにしていただいたほうがいいかなと思います。

直井議員 一番最初の住み続けたい環境の充実というところで、空き家バンク制度については、二次調査まで行っている説明を受けました。人口動態は早急に取り組まなくてはならない課題だと思います。今年、町長のお話では町における出生数は約130人とい

うことで、人数が把握されています。この目標値も2020年では185人となっており、50人の開きがもう既に今年と3年後には出来ている状態になっています。これは早急に取り組んでいただきたい事業だと思います。空き家バンク制度と共に移住者推進として新築・改築の奨励金などの早期見直しを含め、ほかの地域から移り住んでくる方に寄り添った施策を考えて頂きたい。補助金に対しては、細かな見直しを行い使いやすい補助金制度を確立していただきたいと思っております。

星野議員 社会的に自立した人を育てるの(3)のたくましく生きるための人財の育成のところでマシコット体操の楽曲作成。これは以前、高橋家光議員も発言したと思うのですが、マシコットを変えてやらないとこれ楽曲できて多分踊りとかやっていくと思うんですよ。あれで音楽に合わせて、ひまわり祭りとか上三川に行ったりいろいろ暑い中やりますよね。いよいよこの辺で本気に作り直すことを検討していただきたいと思います。

黒子議員 職員全員が未来計画を持っていれば、これをある程度職員にも復唱させるなりすればいいのかなと思いました。これを教科書にして仕事に頑張ってもらいたいと思います。

議長 以上で未来計画の検証が終わりましたので、今回の議事録をもって執行部に報告いたします。

